

麦・水稲の生育と管理

令和3年5月号
大分県北部振興局集落営農・水田畑地化班

天候を見て適期に収穫を！

◎品質向上のために適期収穫を！

- ・1月中旬以降、気温は平年より高く推移しており、生育が進んでいるので刈遅れに注意しましょう。
- ・収穫適期の目安は、**成熟期から2～4日後**です。
- ・穀粒水分の目安は、**水分含有量25%以下**です。

適期に
収穫しないと
損だなあ

早刈り → 減収・乾燥費増大・品質低下
遅刈り → 減収・穂発芽・倒伏・品質低下



成熟期の判断基準

麦種	出穂期からの日数	外観による判断
小麦	45～50日程度	・全穂の80%で粒の緑色が消え ツメ後がわずかにつくロウソク くらいの固さ (水分35%程度) ・穂首部分が黄化する
裸麦	40日程度	
大麦	37～42日程度	

※出穂期は全体の40～50%が出穂した時期を指す



収穫適期を迎えたニシノホシ

◎収穫時に降雨が予想される場合

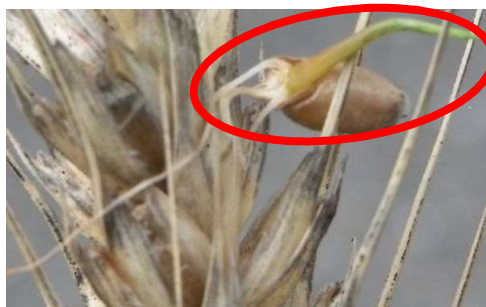
- ・麦は成熟期以降に降雨を受けると、穂発芽、退色、かび等の発生を招きます。
- ・雨が予想される場合は、できる限り降雨前に収穫しましょう。

Q. 収穫はどれくらい前倒しできるのか？

A. 収穫適期の2～3日前が前倒しの限度です。穀粒水分は31～32%です。

◎収穫時の注意点

- ・倒伏、穂発芽、赤かび病の発生した圃場は別収穫しましょう。
- ・雑草の種子が麦に混入して品質が低下しないよう、カラスノエンドウ等の雑草は収穫前に手取り除草を行いましょう。



穂発芽



赤かび病



カラスノエンドウ

苗半作～良い米は苗作りから～

◎ 良い苗の条件

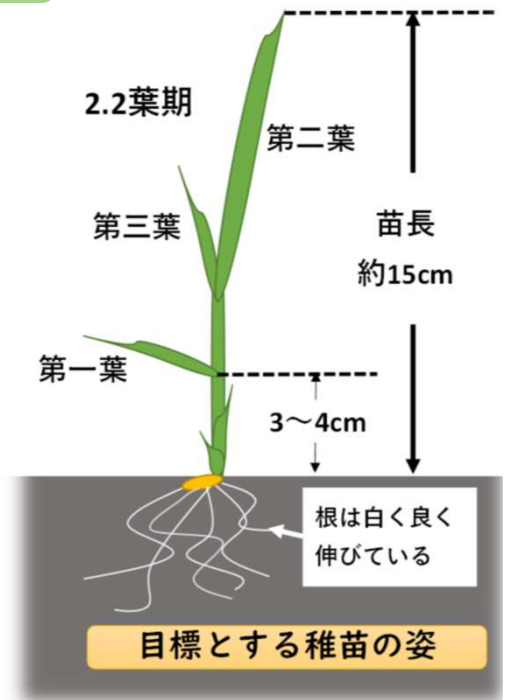
- ① ずんぐりして発根力に優れ活着が良いこと
- ② 生育が揃い病害虫の発生がないこと
- ③ 根量が多く、マット形成がしっかりしていること
- ④ 下葉の枯れ上がりや葉先枯れがないこと

◎ 良い苗作りのポイント

① 塩水選

- ・ 塩水に沈んだ発芽の良い粳を種粳として選別しましょう。
- ・ 選別後は十分水洗いし塩分を取り除いてください。

米の種類	比重	使用量 (水20Lあたり)	
		食塩	硫安
うるち	1.13	4.0kg	5.8kg
もち	1.08	2.4kg	3.2kg



② 種子消毒

病害虫による被害を抑えるため種子消毒を必ず行いましょう。

薬剤	使用量 (水20Lあたり)	適用病害虫名	使用方法
スミチオン乳剤	20cc	イネシンガレセンチュウ	24時間 種子浸漬
テクリードCフロアブル	100cc	もみ枯細菌病、ばか苗病、いもち病	

③ 浸種・催芽

- ・ 水量は種粳の2倍以上、種粳は網袋の7割程度が上限
 - 水槽内の粳が多過ぎると酸欠になります！
- ・ 水は原則として水道水を使用し、毎日交換
 - 浸種中の掛け流しは消毒効果を損ねるので×！
- ・ 浸種日数=100℃÷水温(10～15℃)
 - 直射日光の当たらない場所に置きましょう！
- ・ 鳩胸状態となったら催芽は完了



④ 育苗方法

1. 出芽期 (適温30～32℃)

緑化開始まで(幼芽長5～10mm)
高温では出芽不良、病害虫発生
低温では出芽遅延、かび・障害発生

2. 緑化期 (適温22～25℃)

光を当て、緑葉素を作る(苗長3～4cm)

3. 硬化期 (12℃以下にしない)

硬化開始から移植5～6日前までの期間で
温度を徐々に下げ外気温に慣れさせる
この期間で目標の葉齢、苗長まで育てる

灌水は午前と午後の2回が基本！

① 午前10時頃の気温上昇時に
たっぷり灌水します

② 午後2時頃に床土の表面が乾いて
いたら灌水しましょう
※ 過剰な水分供給となる夕方の
灌水は避けましょう

控えめな灌水を心がけましょう

過剰な灌水は根張りを悪くし、軟弱で
徒長した苗になります。

温度管理

水管理